

佐藤 保 先生 追悼

この度、佐藤保先生が満90歳にてご永眠されたとの報に接し、深い悲しみに包まれております。謹んで哀悼の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

先生は1934年に新潟県長岡市でお生まれになり、長岡女子師範附属中学校、県立長岡高等学校を経て、東京大学大学院において比較文学の島田謹二教授や中国文学の倉石武四郎教授に深く学ばれた後、オーストラリア国立大学研究員を皮切りに、東京大学の助手となり、次いで國學院大学、お茶の水女子大学で教鞭をとられ、後進の育成にご尽力されました。特にお茶の水女子大学では学長として、その卓越した指導力と温かなお人柄で大学の発展に大きく貢献されました。

その後も二松学舎大学大学院教授、そして学校法人二松学舎の理事長を歴任され、21世紀COEプログラム「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」(2004～09年)の推進にリーダーシップを発揮されました。学界においては、東方学会評議員、日本中国学会理事の要職を歴任されました。長きにわたり日本の学术界、教育界を牽引してこられ、2009年に瑞宝重光章を受章されたことは、先生の輝かしいご功績を物語るものであります。

ご専門である中国古典詩研究、日中文化交流研究においては、第一人者として数多くの貴重な研究成果を発表されました。『中国古典詩学』『宋詩：附金』などのご著書、『鳳よ鳳よ — 中国文学における〈狂〉』『ああ哀しいかな — 死と向き合う中国文学 —』などの編著は、先生の深い学識と探求心の結晶であり、漢詩漢文の世界に不滅の足跡を残されました。その学恩を受けた者は数知れず、先生の研究は今後も国内外の多くの研究者にとって道標となり続けることでしょう。

晩年まで学校法人二松学舎顧問、二松詩文会顧問として、その深い知見をもって学界を見守り続けてくださった先生。その真摯な学究姿勢と教育への情熱は、私たちの心に深く刻まれております。直近では、2022年7月に亡くなられた石川忠久先生の蔵書約1500点を本学で受け入れて「岳堂文庫」として収蔵することができたのは、ひとえに先生のご尽力の賜物です。

ここに、佐藤保先生の偉大なご功績と、学問に捧げられた尊いご生涯を偲び、改めて深甚なる敬意と感謝を表します。安らかにお眠りください。

2025年4月4日

学校法人 二松学舎
理事長 水戸 英則
二松学舎大学
学 長 佐藤 晋